

平成24年度 関西大学 研修員

研究支援課

学部	人数枠	資格	氏名	期間	主たる研究先	研究内容の概要	備考
法	春学期1名 秋学期1名 の2名以内	教授	寺島 俊穂	H24.9.21～ H25.3.31	1. 自宅 2. 関西大学総合図書館 3. 慶応義塾大学図書館 4. 国立国会図書館	政治理論研究と平和研究を接合し、新しい理論的地平を切り開くため、以下のことを計画している。 ①文献を読み込み、グローバル化の下でのシティズンシップの変容についての研究 ②平和主義の歴史を精査し、戦争廃絶の思想についての考察③戦後日本の市民的抵抗についての調査・分析④「政治概念の歴史的展開」について、古代、中世、近代、現代における概念の展開についての考究	
文	春学期2名 秋学期1名 または 春学期1名 秋学期2名 の3名以内	教授	柏木 治	H24.4.1～ H24.9.20	1. 自宅 2. 関西大学総合図書館・個人研究室 3. 慶応義塾大学附属三田図書館 4. 東京大学附属図書館 5. フランス国立図書館 6. フランス国立科学研究センター	前半は、王政復古から七月王政にかけての文学および文化制度の問題、とくにアルジェリア侵攻前後のフランスにおける文化状況の変化を中心に研究をまとめる。後半は、19世紀前半に発足したさまざまな科学者集団と文化イデオロギーの関係についての基礎研究を行い、フランスにおいて、初期人類学の誕生と19世紀植民地主義イデオロギーの関係、それらが文学に与えた影響などについて研修を行う。	
		教授	山本 幾生	H24.9.21～ H25.3.31	1. 関西大学個人研究室 2. 関西大学総合図書館 3. 慶応義塾大学文学部教育学研究室 4. 法政大学文学部哲学研究室 5. ドイツ・ルール大学ヘーゲル研究所 6. ドイツ・マインツ大学ショーペンハウアー研究所	平成23年度より3年間採択を受けている科研費による研究「創造的跳躍としての類比(アナロジー)」の推進を主たる計画とする。 秋学期には、「類比による類似・連関・類型と精神科学の基礎づけの客観性の解明」を目指して、文献資料の収集と意味分析、意見交換等を実施して、研究目標を達成する。 これによって研究成果を公表する。	
経	春学期1名 秋学期1名 の2名以内	准教授	壽里 竜	H24.4.1～ H24.9.20	1. 関西大学個人研究室 2. 自宅 3. 関西大学総合図書館 4. イギリス	主として、まだ論文・学会報告の形で発表していない内容について研究を行う。 ①ウイリアム・テンプルとヒュームの思想的親和性について②奢侈論におけるヒュームとシャフツベリの関係について③ヒュームの「完全な共和国論」と同時代への影響について④近年の啓蒙思想研究におけるヒュームの位置づけについて	
		教授	前川 聡子	H24.9.21～ H25.3.31	1. 関西大学 2. 大阪大学 3. 慶応大学 4. 一橋大学 5. 東京大学	これまで行ってきた研究を著書として刊行できるよう既公表論文を見直し、整理する。 また、日本における税制・財政政策の実証分析の研究水準を進展させるため、文献サーベイ、調査、データ収集・整理を行う。	
商	春学期1名 秋学期1名 の2名以内	教授	川上 智子	H24.9.21～ H25.3.31	1. 自宅 2. 関西大学個人研究室 3. 千葉県(亀田総合病院)、愛知県(トヨタ記念病院他) 4. アメリカ合衆国(ワシントン大学他) 5. 韓国ソウル市(延世大学他) 6. 中国(大連、北京、上海他) 7. オランダ王国(デルフト工科大学他) 8. カナダ(マギル大学他)	現在2つの科研費プロジェクトに代表者として関わっている。一つは、挑戦的萌芽研究であり、企業の新製品開発におけるITツールの利用に関する研究である。日米間の共同研究であるため、共同研究者と議論する。もう一つは、ネットワーク外部性を有する新製品の普及に関する研究であり、既に蓄積されたデータを分析する。また、平成22年度に終了した科研費基盤研究(A)のフォローアップとして病院組織のマネジメントに関する研究も継続中である。いずれの研究に関しても、将来的な拡張の方向性として日米以外の国における国際比較研究の可能性を探り、外部資金が獲得可能な研究プロジェクトに発展させたい。	
社	春学期1名 秋学期1名 の2名以内	教授	高瀬 武典	H24.4.1～ H24.9.20	1. 関西大学個人研究室	今までに発表した以下に関する諸研究の精緻化と、新しい資料を加えた再分析を進める。 ①日本の企業組織の統計上の変化について ②日本のソフトウェア産業の生態学モデルにもとづく分析について また、研究成果について、学会発表を行う。	
政策	春学期1名 または 秋学期1名 の1名以内	教授	柄谷 利恵子	H24.9.21～ H25.3.31	1. 個人研究室 2. 神戸大学大学院国際協力研究科 3. 自宅 4. 連合王国(オックスフォード大学、国立公文書館)	「人の国際的移動」をテーマに2000年以降、20を超える論文及び書籍を発表しており、これらの研究蓄積を踏まえて、「移動から考える国際関係論」を体系的にまとめ執筆する。また、従来から行っている英国での資料収集、研究者・実務家へのインタビューを継続したい。	

※ 規程 第3条第1項による在職年数(平成24年4月1日現在)に抵触するものではありません。

平成24年度 関西大学 研修員

研究支援課

学部	人数枠	資格	氏名	期間	主たる研究先	研究内容の概要	備考
外国	春学期1名 または 秋学期1名 の1名以内	教授	宇佐見 太市	H24.9.21～ H25.3.31	1. 東京女子大学図書館並びに原英一研究室 2. 広島大学図書館並びに要田圭治研究室 3. 成城大学図書館並びに青木健研究室 4. 中京大学図書館並びに柁正行研究室 5. 大阪市立大学図書館並びに田中孝信研究室 6. 首都大学東京図書情報センター 7. 国立国会図書館並びに関西館	「日本におけるチャールズ・ディケンズ文学研究の意義」に関して、英国ヴィクトリア朝の文化・社会を活写したディケンズ文学を現代日本において鑑賞し、学ぶことの意義は奈辺にあるかを検証する。また、「日本における英文学研究の歴史」に関しては、日本の英文学研究が明治以来、本質的に内包しているさまざまな問題点を別括し、日本の英文学研究の意義と思想に触れ、日本の英文学研究の新たな地平を拓きたい。	
人間	春学期1名 または 秋学期1名 の1名以内		被選考者なし				
総	春学期1名 秋学期1名 の2名以内	教授	黒葛 裕之	H24.4.1～ H24.9.20	1. 早稲田大学企業法制と法創造総合研究所 2. 関西大学個人研究室 3. 関西大学総合図書館	・知的所有権に関する法制度面や商取引実態についての文献研究を行う。 ・早稲田大学企業法制と法創造総合研究所において、知的所有権に関する調査研究を行う。	
		教授	阿辻 茂夫	H24.9.21～ H25.3.31	1. 関西大学総合情報学部研究室及び千里山キャンパス 2. 国内大学・研究機関(京都大学他) 3. その他、出版過程で、調査研究上、必要となる研究機関	近年多発する企業不祥事や、組織レベルの事故・人為災害について、公害や環境汚染も含め、資料集として纏め、上梓する。従前より取り組んできた組織の事故・災害について、システム劣化・老化の視点より、そのヒューマンエラーやシステムエラーの性質とプロセスを明らかにし、人為災害を抑止する近未来(型)のマネジメントの可能性を検討する。また、研究機関や研究者と情報交換しながら、出版を目指す。	
社安	春学期1名 または 秋学期1名 の1名以内		被選考者なし				
シス理	春学期1名 秋学期1名 の2名以内		被選考者なし				
環都	春学期1名 秋学期1名 の2名以内		被選考者なし				
化生	春学期1名 秋学期1名 の2名以内		被選考者なし				
法務	春学期1名 または 秋学期1名 の1名以内	教授	川口 美貴	H24.9.21～ H25.3.31	1. 国立国会図書館 2. 東京大学社会科学研究所図書館 3. 東京弁護士会・第二東京弁護士会合同図書館 4. 日本労働組合総連合会総合研究所	①労働契約の成立と労働条件の決定②労働条件の集散的・個別の変更③懲戒④労働契約の終了に関する労働契約法理を検討対象とし、要件及び効果、ならびに、証明責任分配を明確にし、合意と信義則を基礎とし権利濫用はこれを補充するものとし、包括的かつ体系的・整合的な労働契約法理を提示する。	
会計	春学期1名 または 秋学期1名 の1名以内	教授	清水 涼子	H24.4.1～ H24.9.20	1. 留守宅(東京) 2. 英語学校	海外先進国における公会計・監査の制度及び実務の文献収集によって知識を高めるとともに英語能力の向上を図る。	
心理	春学期1名 または 秋学期1名 の1名以内		被選考者なし				
国際	春学期1名 または 秋学期1名 の1名以内		被選考者なし				

※ 規程 第3条第1項による在職年数(平成24年4月1日現在)に抵触するものではありません。